

もっとエッチな
カラニ版 Full color



愛玩は〜れむ☆

妹はアンドロイド!?

The younger sister was an android.

あしもと☆よいか

んふ...

ちゅ...

ふ...

ふ...

ははは...
ちゅ...

うあ...
ふ...

えーつと...

んふ...
ねおにいちちゃん

キモチいい?

ふちゅ...

ちゅ...

なんでこんなことになつてんだっけ!?

ちゅ...

くッ!?

ちゅ...

ちゅ...

しっかり気を持つて...

ふ...

.....アタマ...
整理しないと...

—数時間前

な…!!

長女 エリカ

どーいうこと
だよ親父!?

次女 百里

いきなり出て行く
なんて言い出して!!

俺たちを
置いていく気か!?

長男 相作 カズヤ

三女 まゆ

父 宗一郎
母 まりえ

……

姉貴たちや
まゆだって納得がー

……ワシとしても
忍びないのじゃがな

わしが家を出るのは
……その娘たちの
ためなのじゃ

!?

……話せばなるまいて
おまえの姉妹たちの
秘密を……

知つての通りー

ふん

わしは機械工学の専門家

母さんは生物情報学の専門家じやった

……夫婦生活で
お前を授かったものの

研究で忙しいわしらは
おまえを一人ぼっちで
寂しい思いをさせていた

そこでわしらは科学が
踏み入れてはいけない
領域とは知りつつもー

お前のためにと
二人の力を合わせ
姉妹となる
アンドロイドを
作ることにしたのじゃ

いやあ夜は別な
モノを合わせて
頑張ったん
じゃがの

あらやダ
ホホホ

今そんな事
聞いてねーよ！

そしてとうとうー

？



身体はワシが。心は母さんが
それぞれNASAの
技術を応用しー

世界最高峰の
アンドロイドが誕生したのじゃ

親父…

……ちよつと待て
俺そんなこと
全然
覚えてねーぞ？

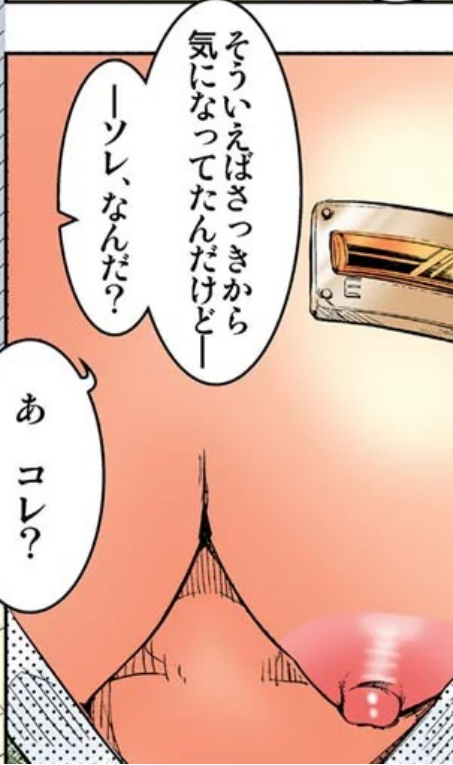
ああそれは
科学の力で
サククリと♪

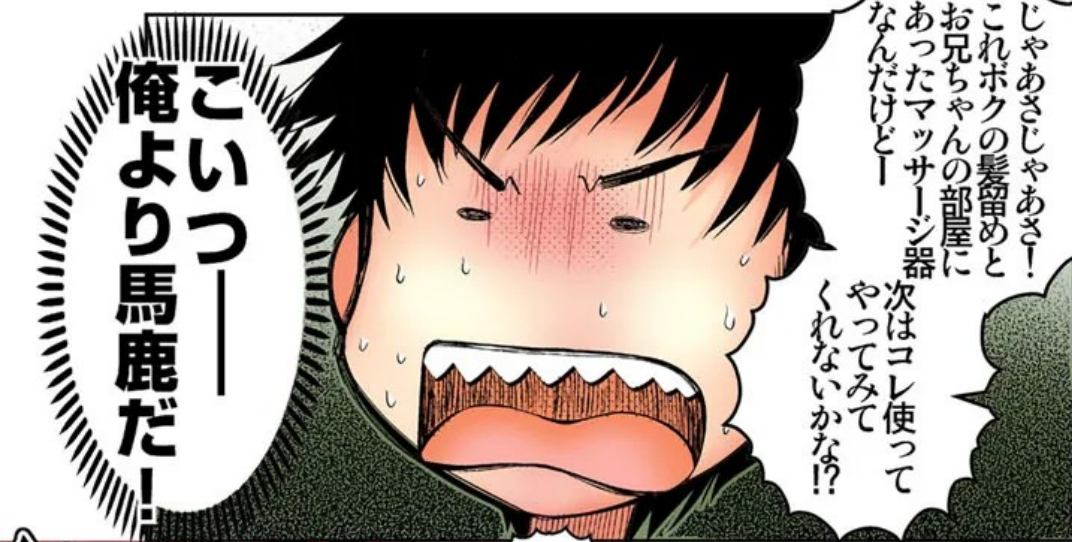
おっ！おっ！おっ！

おっ！おっ！おっ！

それは
いいのかよ！

……って



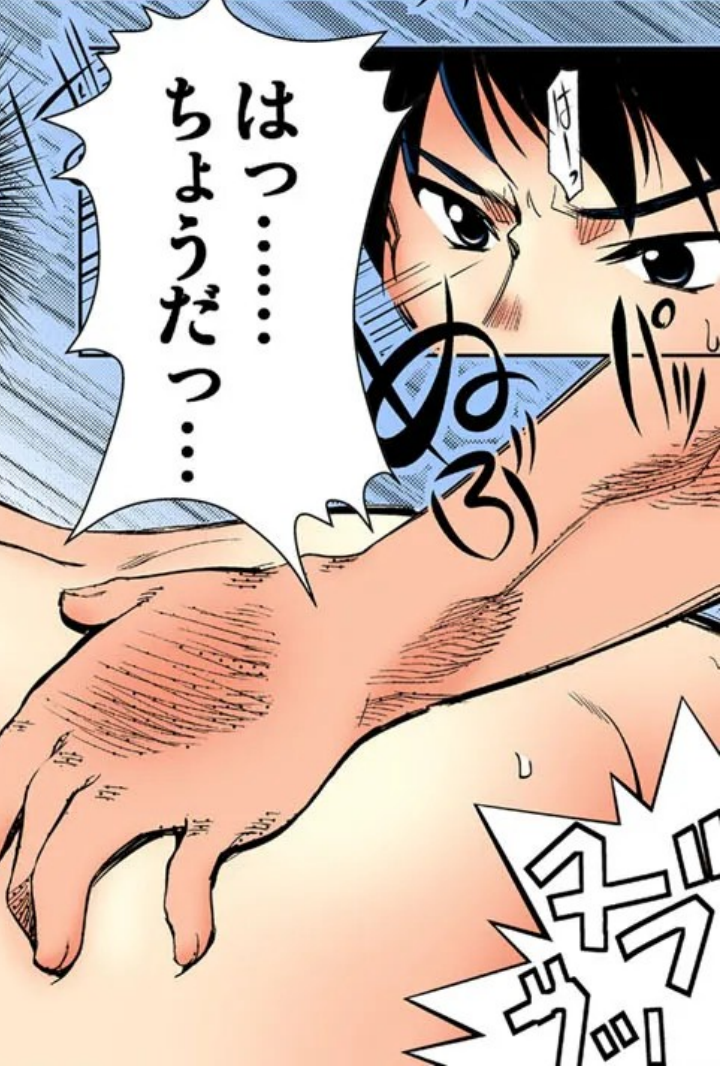




：昨日まで一緒に暮らしてた妹相手に

いひやつ!!





あぁあ
んっ…

あぁあ
んっ…

んっ…

早くここから
出ないと…
干からびるぞ!!!

ほーら

は〜
満タン♡

やせ〜!!
やせ〜!!

お? ベッド
の下になんか
発見!♡

あーッ
それはーっ!!

休む暇無いわよ
次あたしだからね!

カズヤさん わたしも
そろそろエネルギーが…

それがまゆちゃん
のいいところですから…

なあんだ
まゆ もう
済ませてたのか
手が早いね

!?

こうして俺とアンドロイド
たちとの共同生活が
はじまったのだった…

普通の家族
普通の生活——

その日常は親父の
家出で突如打ち切られた

親父の口から
告げられた事実

次女 百里

長男 相作カズヤ

長女 エリカ

それは俺の姉妹たちは
実はアンドロイドで

三女 まゆ

俺にあらたな重責を
のしかけるものだった

ちよつ…重…
ホントに…

……あ、起きた？

お兄ちゃん
おはよ♡

俺に課せられた重責――

がチャッ

おはよう

!?

おはよう

おはよー!!

まあ♪まゆちゃんつたら
朝から元気ね
カズヤさんとした断末魔♡
ハツラツとした断末魔♡

あ

まだ起きて
きませんわ

まゆちゃん
早くしないと学校
遅れちゃいますよ

エリカ姉は?

か

―そう彼女たちの
動力源は精液で

彼女たちは一人っ子で
寂しい思いをしていた
俺のために両親が
創ってくれたのだが

じゃ、おにいちちゃん
先行って待ってるね♪

※父：宗一郎謹製
アンドロイドエネルギー
インジケータ

まったく……
まゆのヤツ朝から
見境ないんだから

その破滅的な設計思想の為
開発者兼エネルギー供給者
だった親父は長期療養を
余儀なくされたのだ

そして今その供給者は――
この俺、相作カスヤなのだ



すげッ：百里姉さん
これ一人で作ったの？



カズヤさん
疲れてるでしょ？

私たちの正体とか
まゆちゃんの
こととか――

：一度に色々なこと
起こりすぎましたものね



ですから少しでも
元気になってくれれば
いいなと思って……

※ 心象風景



ああっ 天使は
ここにいた！

ね 私たちは
アンドロイドだけとー

まゆちゃんも
エリカ姉さんも
あんな風だけど

カズヤさんのことを
ほんとうに大切に
思ってるからー

……嫌いに
なったりしないでね

そんなの
関係ないよ！
みんな家族だ！！

百合姉さんは
いつも通りだしー

まゆについては
まあ…頑張るす！

まあ嬉しい！

おいしい？

百重姉さんの
メシがまずいわけ
ないっすよ！

ぶっ…!!

どうしたの？

いや…
なんか身体が…

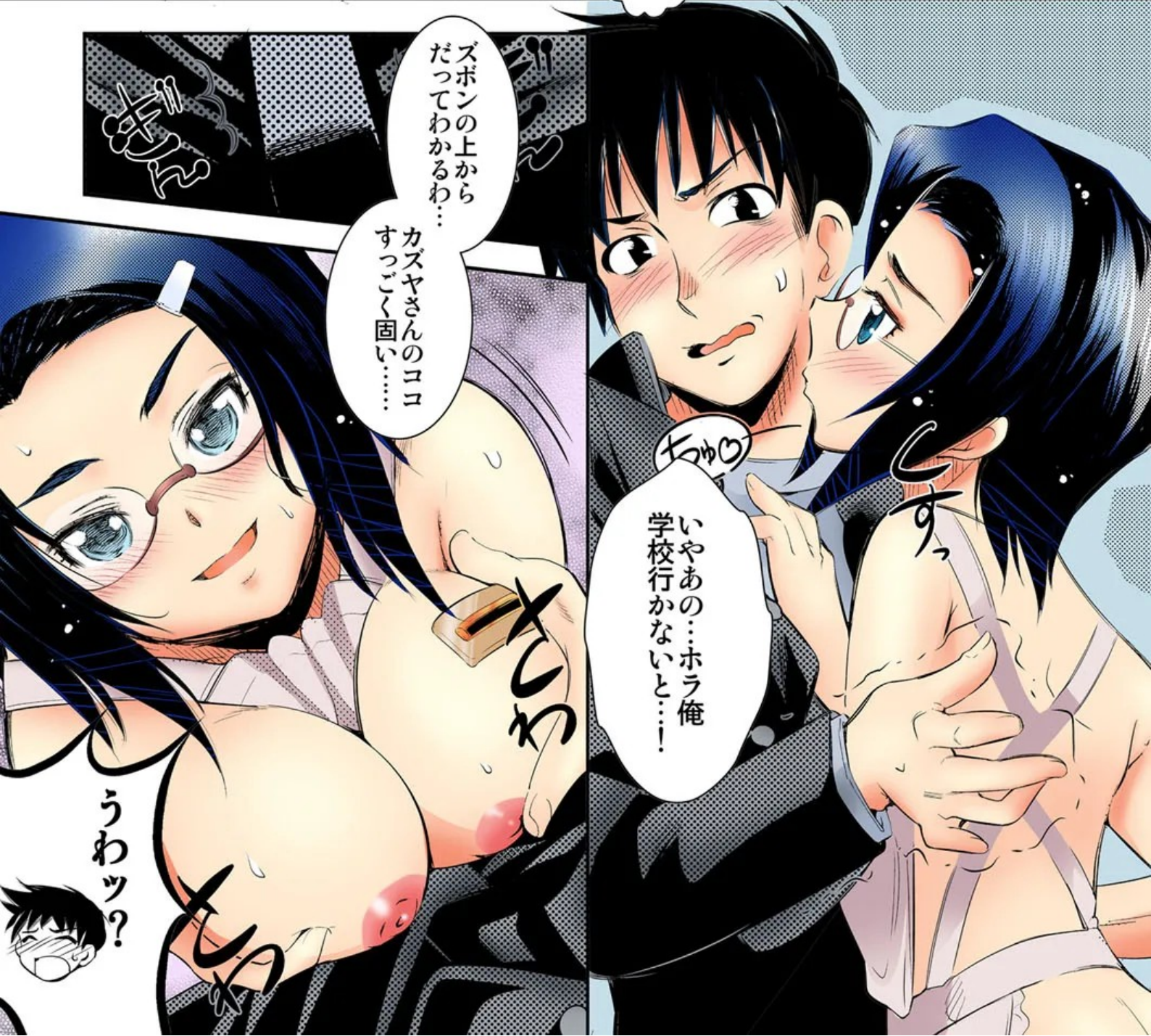
とか
股間がアツい…ッ？

ね カズヤさん
私のメーター
見てください…

もうこんなに
カラッぽ♪

って姉さん！
何脱いでんだよ！

ちゅーん





私達姉妹はです
男性の精液を原動力
にしているんですけど...

ま、カズヤさん...
やっぱりお父様と
違いますね
角度とか

うあッ!?



それは私たちの体内に共生する
生命情報学の専門家のお母様に
よって発見された新種の細菌が
精液に対して強い
代謝作用を働き
それによって...

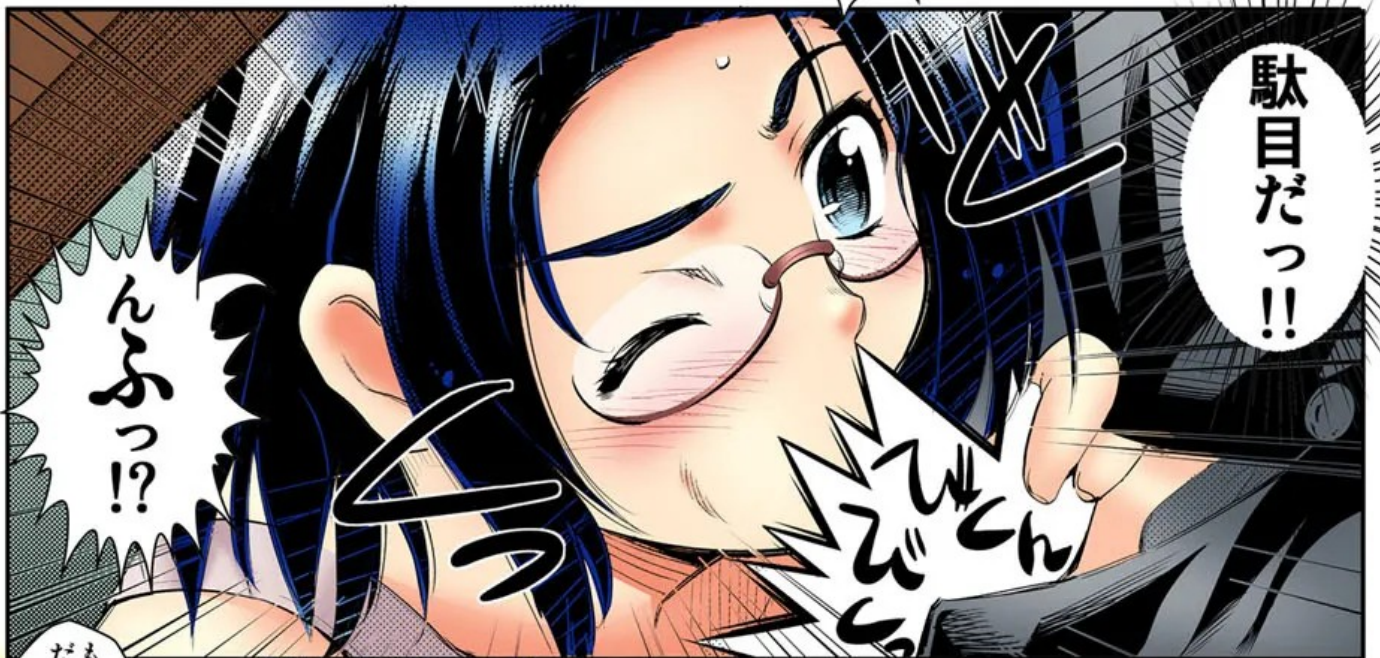
とりあえず
や、やめてくれないかな
が、学校遅れちゃうし...

あれ? やめて
ほしいんですの?

じゃあっ

ななな何を言ってるか
分かんないけど...

!!









もうタ方じゃねーか...
何回やったんだ...

ののの



あれ... なーんか
忘れてるような...



—その夜
俺はまた 怒り狂ったまゆに
絞りとりられることにな
ったのだった



.....

親父たちが失踪して
苦節ンヶ月。久々に
心の休まる日
がやってきた



家族だと思っていたた
姉妹は実は親父の作った
アンドロイドで

そのエネルギーとして
必要なのはなんと精液…
俺は毎日毎日こつてり
絞られていたのだが…

長男 相作カズヤ

次女 百里

三女 まゆ

今日は土曜日。
百里姉さんは学校だし
まゆはクラブ活動。
エリカ姉は夕方まで
起きてこない！

こんにちは俺の
ハッピーサタデー…

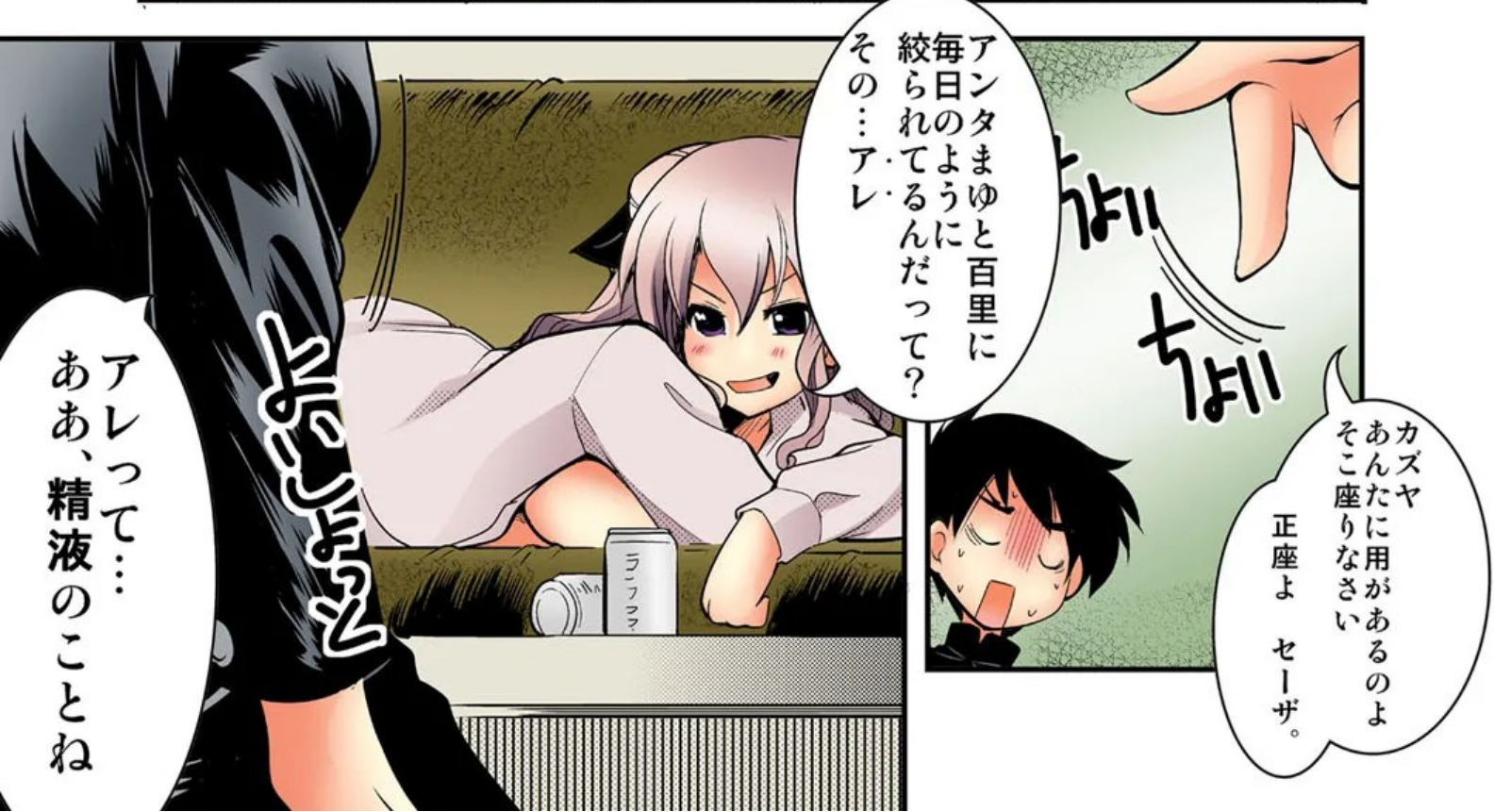
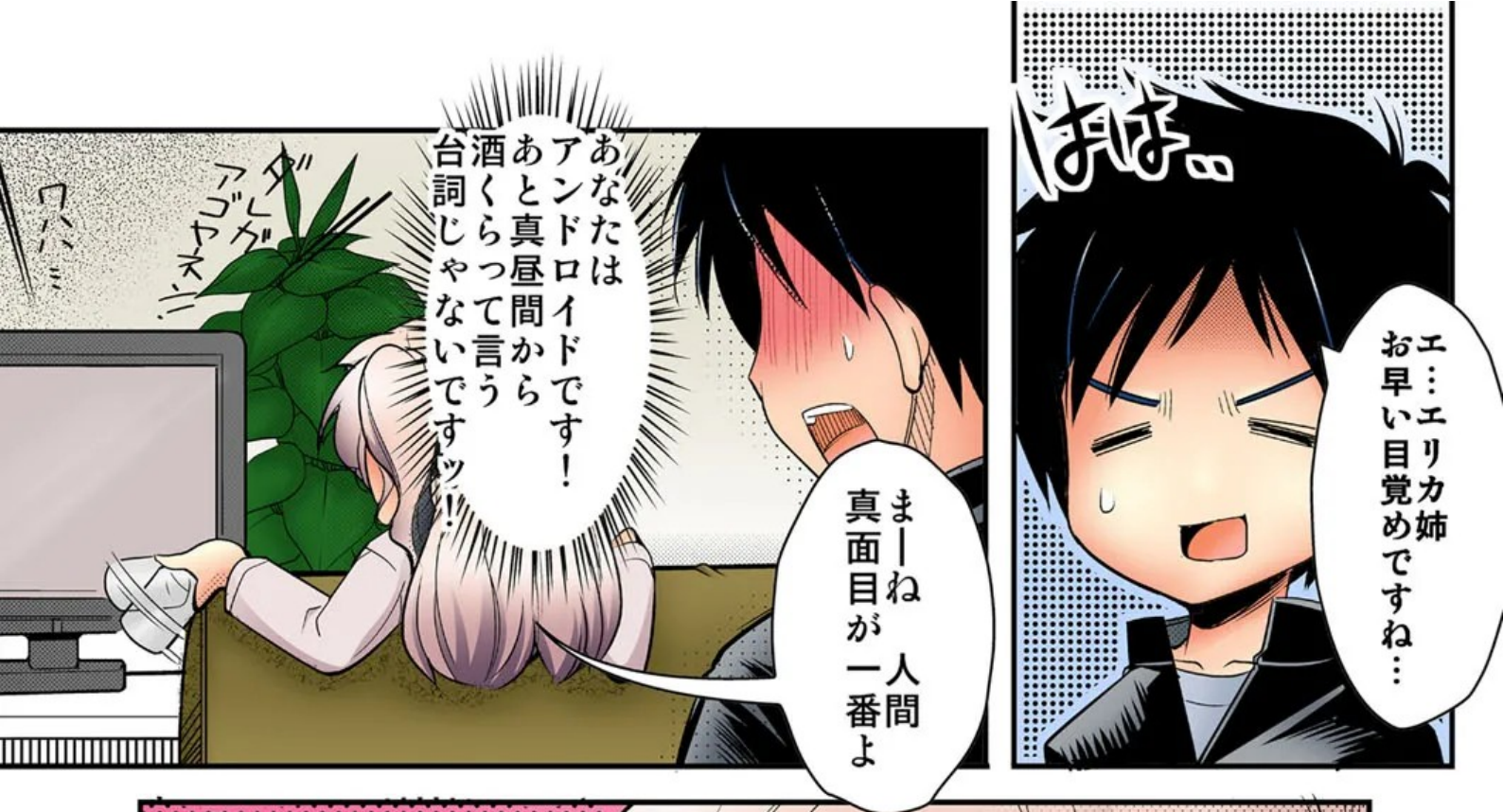


さよなら俺の
ハッピーサタデー…

長女 エリカ

P!

シカケにカガ
ムールの
オハナセー





っの...

バカっ!!

むぎやう!!

人がせっかく
ボカシて言うて
あげてるのに...

—そんなあたしの
気遣いも分からないの?

まあ...
そろそろエネルギーも
少なくなってきたね...

ほら、あたしに
補充させてあげるから
ソレ。
...早くおっ立てなさいよ

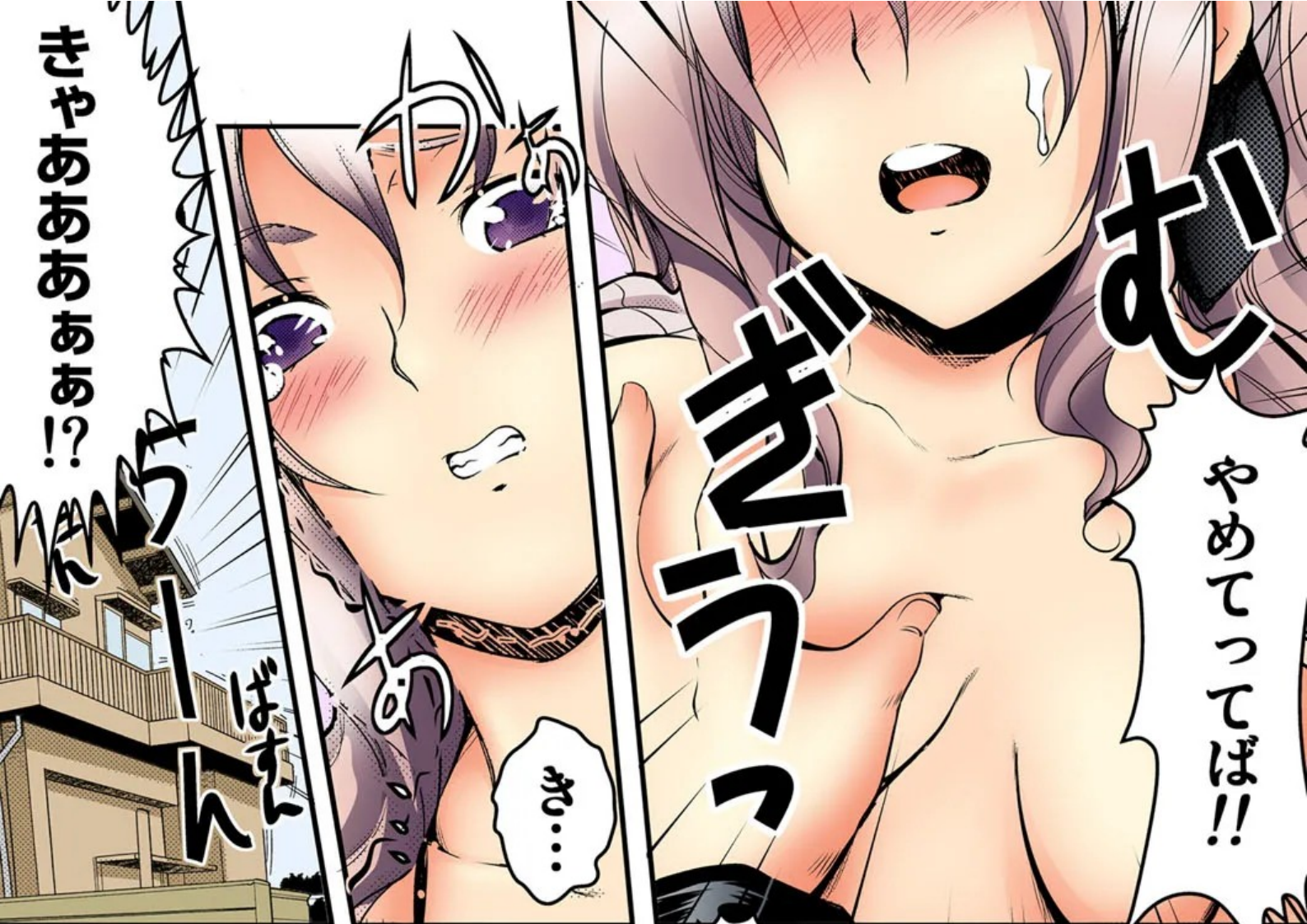
こういう事されるの
好きなんですよ?
気持ちいいんでしょう?...変態

足でされてるのに...

されて...ないっ
コレじゃ
踏まれてるだけッ...

※模式図

やめっ...エリカ姉っ





親父…
おめえが
一番変態だよ

DoMAZo!

何言わせるんだ!
変態!

ってバカ!

親父は…さっきのアレで
喜んでくれてたし…
アレの補充に関しては…
その…口から…

アタシからは
恥くて誘えないし…

毎日あんなに
寝てるのだって…
少しでもエネルギー
消費を抑えようと…

まいったなあ…エリカ姉が
実はこんなに奥手だったなんて

これじゃあ、エネルギー
の補充どころじゃ…

でもそんなエリカ姉も
ちよつとかわいいかなー

俺は心の何処かにある
そんなキモチに
素直に従うことにした



まゆ…おまえ何してる

だめだなーあ
エリカ姉にはもっと
デリケートに接して
あげないと♪

どしゅ



『姉さん さあ俺に任せて…』

俺はおもむろにズボンを
下ろすとエリカ姉の
たわわな胸に
手を伸ばした



エリカの柔肌に
カズヤの手が伸びる

熱い吐息が漏れ
めくるめく官能の
空間が広がり…

百合姉さん！
何読んでんですか！

それはベッド下の
に隠してあった俺の！

せっかく用事があると
嘘までついて隠れてたのに
バレてしまいましたか…

エリカお姉さんは
恥しがりやさんですから
私たちがムードを
盛り上げようかと思って…



カズヤさんにエリカ
お姉さんのはじめて…

貰っていただこうと
思いました♥

やっべ…
可愛いっ…

ギ
ギ
ギ

——と
ゆるわけてえっ♪

我慢してくださいね
お姉さん…
最初だけですから
痛いのは…

ちゅる
ちゅる
ちゅる

びん

ふ…ん…

ぬ

せ

いひやうツ!!

ほーら入っちゃった…

さ…カズヤさん
動いてあげてください
やさしくね…

ん…

ね…怖くないでしょう?
あとは気持ちよくなる
一方だから…

エリカ姉…ナカ…狭ツ…
締め付けが凄くて…

あふ…は…

は…

みちみち
タタ

ナニ…
これ…

あたま…
しびれちゃ…て…





「私たちにもごほうびを
頂きたく存じますわ♥

ね…おにいちゃん

というわけでー

ひとつ問題も片付いた

もだーっ
来いだーっ
もう何でも

あーっ

ぬぐーっ

ハッ

ハッ

んーっ

んーっ

ガッ

ひあッ



あッ...!!

あは...

もう...
出るぞッ!

せう

ひやは...

コク
コク
コク

あぁ...
ドンッ!!
♡

サビッ
サビッ

